



今年のテーマは「議員ハラスメント対策」 ～全議員研修を行いました～

小早川先生から学んだ実践的な視点

近年、議員によるハラスメント事案が相次いで報道され、議会への信頼にも大きな影響を与えています。そのような中で今回、長年にわたり自治体・企業向けにハラスメント防止研修や組織改善支援を行ってこられたNPO法人ヒューマニティの小早川明子先生をお招きし、「議員のハラスメント対策」をテーマに全議員研修を実施できたことは大変意義深いものでした。研修では、議員が加害者にも被害者にもなり得るという視点を踏まえ、豊富な現場経験に基づく具体的な事例紹介やコミュニケーションの在り方、組織としての予防策、議会・議員特有の課題に応じた助言など、非常にわかりやすく多角的な観点から学ぶことができました。

“受け手基準”的重要性を再認識

特に印象に残ったのは、ハラスメントは“意図の有無ではなく受け手の評価で決まる”という点です。日々多様な立場の人と接する議員にとって、この意識を持つことは不可欠であり、普段の言動を改めて見直す契機となりました。

今回の研修を通じて、議員一人ひとりが自らの言動に責任を持ち、健全で信頼される議会運営をめざしていく必要性を強く感じました。今後も学びを継続し、ハラスメントのない議会、そして多摩市となるよう取組んでいきたいと思います。



小早川明子氏プロフィール

中央大学文学部卒
1999年よりストーカーやDVなど、ハラスメント問題に専門的に取組む。自身の被害経験を契機に被害者支援に加え、加害者へのカウンセリングや再発防止にも注力。2003年にNPO法人ヒューマニティを設立。警察庁や内閣府の検討会等にも関わり、全国各地で講演・研修を行っている。
(受賞歴)

- ・令和2年(公財)社会貢献支援財団第55回「社会貢献者表彰」受賞
- ・令和5年第14回「作田明賞」受賞

議長活動報告

令和7年11月～令和8年1月の間の議長の公務の一部をお知らせします



多摩市議會議長
三階 道雄

東京2025デフリンピックキャラバンカー来庁イベント(11月10日)

多摩市役所東広場にて、東京2025デフリンピックキャラバンカー来庁イベントがありました。本大会は日本では初めて開催され、第1回デフリンピックが開催されてから100周年の記念となる大会です。

イベントには、デフリンピック陸上十種競技日本代表として出場される市内在住の岡部祐介選手がお見えになり、活躍を期待してのエールを送りました。

大会本番では、自己ベストを更新し日本人トップの成績を納め、入賞を果たされました。

このデフリンピックを機に障がいの有無にかかわらず、誰もが自分らしく輝ける共生社会の実現が加速することを願います。



多摩商工会議所新年賀詞交歓会(1月8日)

聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター「アラホール」にて開催された、年始恒例の多摩商工会議所新年賀詞交歓会に副議長、総務常任委員会委員長と共に出席し、代表でご挨拶させていただきました。

「物価の高騰や人員不足など中小企業として大変ではあります、経営者として健康管理を第一とし、協力し合いながら不安定な経済情勢を乗り越えていただきたい。議会としてもできる限りの支援をする。」のような挨拶をさせていただきました。

地元企業の皆様、本年も宜しくお願ひいたします。